

三浦 なつみさん（平成23年卒）

マーチング打楽器指導員

◇お仕事の内容を教えてください

岩手県を中心に各学校に足を運び マーチングの指導をさせて頂いています。その他に吹奏楽打楽器の指導や講習会等も行っています。

◇仕事を通じどんなことに喜びを感じますか

指導先の学校が結果を残したときはもちろん嬉しいですが マーチングが楽しいと思ってもらえる事や 卒業してからも音楽を続けているなどの話を聞くと とても嬉しい気持ちになります。

◇将来の夢を教えてください

東北のマーチングがもっと盛り上がりて欲しい！

その為、マーチングバンドを沢山人に知ってもらえるよう、私自身もっと勉強していきたいです



◇専大北上高校ではどんな高校生活を過ごされましたか

部活漬けの毎日でした。小学校の頃から専大北上でマーチングをするのが夢だったのですが、正直いざ入学してみたら毎日本当に大変でした(笑)。朝6時の電車に乗り、帰りは22時前と、今思うとよくやってたなと自分を褒めてあげたいです。3年の時には副部長をやらせて頂き、当時は部員数が100人超だったので、吹奏楽コンクールでは仲間と競い合ったり、マーチングではリーダーもやっていたので、毎日どう活動していくかを考えるのに必死でした。

1つ問題をクリアしたかと思えばまた新たな問題と笑っている時間より、悩んで泣いていた時間の方が多かったと思います。ですが、仲間や先生に恵まれ沢山支えられ、有意義な3年間を過ごせました。勉強は出来る方ではありませんでしたが、部活をやりたい一心で 自分なりに頑張り、先生方にも助けて頂きました。

◇専北生に伝えたいメッセージは何ですか

高校生活はたった3年間しかありません。その中で嫌なことや、悩むことが沢山あるかと思います。けどそこですぐ諦めるなどせずに、思いっきりぶつかって下さい。必ずこれからの人生に活かされていきます。私自身、当時諦めようとしたり。逃げ出そうとした事が何度かありましたが 仲間が私を諦めなかったおかげで今の自分があるんだなと思います。当時一緒に痛みや喜びを分かち合った仲間は、今でも大切な友達です。なので皆さんも今一緒に過ごしている仲間を大切にしてください。あとどんなに小さなことでも構いません。常に目標を持ち続けてください。皆さんが素敵な高校生活を送れるよう、応援しています

☆取材後記

専北時代に経験した全国大会で全国の有力校との実力差を痛感し、「東北地域のレベルを上げなければ！」との思いを抱いた三浦さん。熱い情熱の持ち主でした。コロナ禍の移動制限がある中、それでも県内5校のマーチング指導を行っています。大好きなマーチングで仕事ができるのが喜び、と語る一方、生徒のマーチングにかける熱量が足りない、と嘆きます。

三浦さん、専大北上の吹奏楽部をよろしくお願ひします。(担当：Y)